

## 囲碁サミットを開催（囲碁文化振興事業）

予算額 2,800千円

### 目的

囲碁文化の振興に取り組んでいる全国の自治体が一同に会し、囲碁文化の普及発展に向けて意見交換する「囲碁サミット」を開催します。開催日は、今年で13回目を迎える湘南ひらつか囲碁まつり「1000面打ち大会」の前日。シンポジウムやアトラクションを企画し、「囲碁のまち平塚」を全国にアピールします。

### 内容

主催 平塚市、(財)平塚市文化財団、湘南ひらつか囲碁文化振興事業実行委員会、平塚市教育委員会、(財)日本棋院

協力 (財)関西棋院

日時 平成20年10月11日(土) 午後2:00

会場 平塚市中央公民館(平塚市追分1-20)

参加費 無料

定員 700名(公募抽選)

参加を呼びかけている自治体(2月現在)

囲碁にゆかりのある自治体(長野県大町市、広島県尾道市など 12自治体)

囲碁同好市長会の会員自治体(京都府綾部市など23自治体)

友好都市等(岩手県花巻市など3市)

### 【問い合わせ先】

市民部 文化行政推進室 文化振興担当 阿部洋千

電話 0463-32-2235(代表)

**地域自治支援モデル事業 地域コーディネーター養成事業**

予算額 460千円

**概要**

平塚市内の各地域（小学校区など）で活動する様々な団体や市民などが連携を深め、それぞれの地域で抱える課題解決に向けた自主的な取り組みを推進するための仕組みを創設します。

地域組織や市民活動の力をまちづくりに活かす事業の一環で、地域自治支援モデル地区の選定と地域コーディネーターの養成が柱。地域の人材や資源を地域主体のまちづくりに活かすことで、地方分権時代を支える“地域力”の向上を図ります。

**地域自治支援モデル地区の選定**

地域内の各団体が連携を深め、特徴的な活動を展開している地域を「地域自治支援モデル地区」に選定。モデル地域において、様々な地域活動団体への現地ヒアリング調査を実施し、各団体が抱えている課題や今後の展望を整理した上で、地域内の課題解決に向けた協議と実践の体制づくりなどについて、地域とともに検討していきます。

**地域コーディネーターの養成**

地域課題の解決に向け、地域の様々な団体や個人を結びつけ調整する地域コーディネーター養成します。コーディネーターは、地域の多様な資源（住民、施設、資金、情報など）を活用して様々な活動主体に働きかけ、適切につなぎ合わせて連携を深めるとともに、新たな事業や地域づくりの推進役として機能することを想定しています。

**スケジュール**

平成20年度前半

- ・モデル地域の選定
- ・モデル地域内の様々な団体への現地ヒアリングの実施

平成20年度後半

- ・ヒアリング結果（各団体の課題や今後の展望等）を整理
- ・各団体の代表者たちが課題解決に向けた協議と実践の体制づくりなどを協議
- ・地域コーディネーター入門講座を開催

**【問い合わせ先】**

市民部 市民活動課 市民生活担当 後藤・中村  
電話 0463-23 1111 内線2126

## 西部福祉会館整備事業

予算額 251,034千円

### 目的

高齢者や障がい者、子育て中の親子などが集い交流を深める地域福祉の拠点として「西部福祉会館」を新たに建設します。

住民主体による身近な生活支援活動などの地域福祉を推進するとともに、健康保持・増進の拠点として大勢の市民が利用している福祉会館。市内4館目となる西部福祉会館は、他館にはない多目的ホールを備えるなど設備面も充実。平成20、21年度の2カ年継続事業とし、平成22年春の開館を目指します。

平塚市の福祉会館・老人福祉センター（平成20年2月現在）

平塚市福祉会館（平塚市追分）

東部福祉会館（平塚市大神）

南部福祉会館（平塚市袖ヶ浜）

### 施設概要

建設予定地 消防署旭出張所の向かい側（平塚市公所）

敷地面積 約4,000平方メートル

施設構造 鉄筋コンクリート造2階建

総床面積 約2,168平方メートル

- |              |  |
|--------------|--|
| 1階（福祉会館）     | 地域活動スペース、多目的室、工芸室、小会議室、多目的ホール、福祉ショップなど |
| 2階（老人福祉センター） | 集会室、娯楽スペース、休憩・図書コーナー、健康相談室、浴室など        |

### 整備計画

平成17年度に用地取得、18年度に地質調査、19年度には建物等の実施設計と造成工事、公共柵設置工事を実施しています。

#### 2か年継続事業

平成20年度 建築工事、特殊基礎工事

平成21年度 建築工事、電気・衛生・空調工事、外構・植栽工事

平成22年度 開館（4月～5月）予定

### 【問い合わせ先】

健康福祉部 福祉政策課 庶務担当 遠藤正人

電話 0463-23 1111 内線2148

## 食育推進基本計画を策定

予算額 813千円

### 概要

「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけた健全な食生活の推進を目的に、関係機関・団体と連携して「平塚市食育推進基本計画」をまとめます。食育推進委員会を中心に市民ニーズに合った食育の推進方法を検討し、年内の策定を目指します。

基本計画策定後には市民への啓発を活発化させ、市民と団体、行政との協働による食育推進活動を積極的に展開します。

### 食育推進委員会

（委員長：厚生労働省国立保健医療科学院 佐藤加代子 公衆栄養室長）

行政や医療関係団体のほか、JA湘南、魚食普及協議会といった生産・流通・販売業者、育ち盛りの子どもの預かる幼稚園や小・中学校などの教育機関、消費者団体や公募市民など計21人がメンバーで、それぞれの関係機関が取り組んでいる食育推進事業を「横のつながり」として強化することを目的として平成19年8月に発足。

### 平塚市食育推進基本計画の策定に向けて

平成19年度には、計画策定に向けた第一弾の取り組みとして、平塚市民の「食」に関する考え方や食生活の状況などを把握する住民実態調査を実施。食を取り巻く現状を分析し、市民が自ら考え、食品を選択する力を身に付けることができるような計画の策定を目指します。

平成20年5月	食育推進委員会
7月	平塚市食育推進基本計画 素案策定 パブリックコメント実施
9月	食育推進会議
12月	平塚市食育推進基本計画策定

### 【問い合わせ先】

健康福祉部 健康課 健康づくり担当（保健センター） 石村靖子  
電話 0463-34 0311（平成20年3月31日まで）

**地球温暖化対策強化週間を創設 フォーラムも開催**

予算額 1,117千円

**目的**

「平塚市地球温暖化対策地域推進計画」(平成19年3月策定)を市民に周知し、地球温暖化対策を推進するための実践活動呼びかけを目的に、7月下旬の1週間を「地球温暖化対策強化週間」に定めます。

期間中には、環境フェアや地球温暖化対策フォーラムを実施するなどして、地球温暖化防止に向けた市民総ぐるみの活動を展開します。

**内容**

地球温暖化対策強化週間 7月27日～8月2日(7日間)

**環境フェア2008(仮称)**

実施日 平成20年7月27日(日)

場 所 平塚総合体育館(平塚市大原1-1)

対 象 市民や関係団体など

内 容 環境に関する各種イベント

**地球温暖化対策フォーラム**

実施日 平成20年8月1日(金)

場 所 平塚市中央公民館(平塚市追分1-20)

対 象 市民や関係団体など

内 容 基調講演、地球温暖化対策活動事例紹介、パネルディスカッションなど

**【問い合わせ先】**

環境部 環境政策課 環境政策担当 滝原良一

電話 0463-23 1111 内線2266

## ひらつか海岸利用推進事業 浜辺のさんぽ道整備

予算額 57,000千円

### 概要

ビーチスポーツの拠点として大勢の人たちでにぎわう湘南ひらつかビーチパークは、年間を通して憩い楽しめる海辺の施設。課題となっていた駐車場不足の解消やビーチエリアの活性化に向けて「浜辺のさんぽ道」整備事業を進めます。

平成19年度からの3年間にボードウォーク東端から平塚新港駐車場までの約660メートルをつなぐ計画で、20年度には約600メートルを整備。

利便性向上と平塚海岸の魅力アップを図り、平成22年度のビーチパークの来場者数50万人（平成18年度比15万人増）を目指します。

### 整備計画

海浜利用者が減少する10月ごろに着工し、年度内の完成を目指します。

### 【問い合わせ先】

都市整備部 水政課 水辺・海浜担当 篠崎友明

電話 0463-23 1111 内線2633

## 新庁舎建設事業

予算額 69,796千円

### 目的

現庁舎における耐震性の不安や狭あい化、分散化などによる市民サービスの低下に対応するため、新庁舎の建設準備を進めます。

建設実現に向けて庁内体制を整備するとともに、平塚市新庁舎建設基本構想を今秋にも策定。外部委託による基本設計・実施設計を経て、平成24年度の完成・供用開始を目指します。（平成20、21年度の継続事業）

### 内容

#### 平塚市新庁舎建設基本構想

新庁舎建設の基本となる考え方をまとめたもので、建設の必要性、建設の基本的考え方、新庁舎の機能、規模などを柱に、今秋の策定を目指します。

#### 外部事業者への設計委託（基本設計・実施設計）

##### 〔基本設計〕

建築主側の使用意図に添って平面計画等の設計を提案するとともに、法令チェック等を行い、建築計画をまとめます。

##### 〔実施設計〕

基本設計に基づいて実際の設計業務を行います。

#### 庁内体制を整備

- 1 新庁舎建設庁内検討委員会（委員長 鍵和田政美副市長）  
平成16年9月に発足した関係部長で組織する検討委員会。今後の基本設計に向けて検討委員を拡充。
- 2 新庁舎建設庁内検討委員会作業部会（部会長 行政総務課長）  
基本設計に必要な条件整備の各課題に対する具体的な調査検討にあたる作業部会。これまでの3分科会を廃止し、あらたに10のテーマを研究するワーキングを設置。
- 3 新庁舎建設庁内検討委員会作業部会ワーキング  
作業部会のメンバーが座長となり、新庁舎に導入すべき機能や特定の課題などを個別・具体的に調査研究するためのワーキンググループ（10）を発足。

#### スケジュール（予定）

平成20年8月	「新庁舎建設基本構想」の素案に対するパブリックコメント実施
秋	「新庁舎建設基本構想」策定
平成20～21年度	基本設計・実施設計
平成22～23年度	建築工事
平成24年度	完成・供用開始

#### 【問い合わせ先】

総務部 行政総務課 庁舎建設準備担当 難波修三・中村純也  
電話 0463-23 1111 内線2517

## 平塚駅北口駅前広場バリアフリー化事業

予算額 357,195千円

### 目的・効果

平塚の玄関口として一日あたり約3万7000人が利用するJR平塚駅北口駅前広場を再整備し、バス乗降場をバリアフリー化します。

現状のバス乗降場の大半は、階段による地下通路の利用が必要な状況になっています。この地下道への階段がバリアとなり、バス利用者の中には、地下道を利用せず車道を横断する姿も見受けられ、多くの市民から改善の要望も出されていました。

誰もが安全に安心して利用できる駅前広場の実現に向け、駅前広場のバリアフリー化整備を行います。

### 計画の概要

現状の駅前広場には4つの島(アイランド)が設けられており、このうち3つのアイランドに計11台分のバス乗降場が整備されています。また、駅前大通り線には歩道に沿って3台分のバス乗降場と3台分のバス降車場が設けられています。

再整備計画では、バス乗降場などの配置変更とそれに伴う改修を実施し、バリアフリー化を実現します。

### 駅前広場の配置変更

駅前広場外周部の歩道沿いに、できるだけ多くのバス乗降場を配置し、歩道からの直接乗降を可能にします。

外周部に配置しきれないバス乗降場は、既存のアイランドにエレベーターを設置し、地下道との上下移動を円滑にします。

### スケジュール

平成19年度 基本設計、実施設計

平成20年秋にも着工し、年度内の完成を目指します

### 【問い合わせ先】

都市整備部 都市整備課 駅整備・再開発担当 二之宮秀勇

電話 0463-23 1111 内線2113



## ノンステップバス推進事業

予算額 6,000千円

### 概要

高齢者や障がい者等、誰もがバスに楽に乗り降りできるノンステップバスの導入を国の補助制度を活用してバックアップします。市内を運行するバス車両のバリアフリー化推進が目的。平塚駅や周辺目的地への移動の利便性・安全性の向上を図るとともに、移動しやすい交通環境の整備を推進します。

### 〔補助内容〕

バス事業者がノンステップバスを購入する際、通常車両価格との差額の一部を国の補助制度（公共交通移動円滑化設備整備費補助金交付要綱）と協調して補助します。

- 補助対象 市内バス事業者が新たに購入するノンステップバス
- 補助額 ノンステップバス車両価格と通常車両価格との差額に1/2を乗じて得た額で、市が定める要綱に基づき予算の範囲内で補助金を交付  
■ 1台あたりの上限額は190万円（国）  
ここ数年は、国への申請予定額が国の補助金予算額を大幅に上回っていることから、上限額に調整率（平成19年度：0.57）がかけられています。
- 導入車両 5台（予定）

### 【問い合わせ先】

都市政策部 都市政策課 都市政策担当 木村隆之  
電話 0463-23 1111 内線2414

## 日向岡トンネル内ラジオ放送設備設置工事

予算額 46,600千円

### 目的・効果

平塚市西部・旭地区の日向岡トンネル内に、緊急地震速報を受信できる設備を設置します。

地震が発生（予知情報を入手）した際、トンネル内を走行中の車両に対してAMラジオ放送を通じた緊急情報を提供することにより、防災機能の向上を図ります。

### 【日向岡トンネル】

市内唯一の都市型トンネル（全長555メートル）。平成10年5月に開通。

都市計画道路「八幡神社土屋線」が平塚の平野地帯から丘陵地帯に差し掛かった箇所にある日向岡の住宅密集地の直下を通るトンネルで、一日あたり約1万台（平成18年7月）が往来しています。

トンネル上部に管理棟（無人）を備えるとともに、平塚市役所内にはトンネル内の様子を24時間映し出す監視モニターを設置し、万が一に備えた危機管理体制を整備しています。

### 内容

- ・日向岡トンネルの管理棟敷地内にAMラジオ放送の受信アンテナを設置。
- ・緊急地震速報等がAMラジオ放送を通じて発せられた場合、管理棟内の送信装置を通してトンネル内の走行車両のラジオから受信が可能。

### スケジュール（予定）

平成20年4月	発注
6月	着工
平成21年1月	完成

### 【問い合わせ先】

道路部 道路補修課 巡回補修担当 細谷誠  
電話 0463-23 1111 内線2641